

平成22年度 部長重点目標 (ONSENツーリズム部長)

基本目標

住民との協働による事業の推進に取り組みます

魅力あるまちづくりを推進するため、別府市民憲章の基本理念に沿ったホスピタリティマインド(おもてなし精神)の向上を図ります。

別府独自の特化した概念による「ONSENツーリズム」を推進するため、横断的な連携強化や地域資源の掘り起こしに取り組みます。



ONSENツーリズム部長
清末 広己

重点目標

市長マニフェスト関連事業

| 事業名称 | 市民と協働のまちづくりの推進 | | |
|--------|---|------|----------|
| 事業内容 | 市民と協働のまちづくりの推進事業 ・泉都別府ツーリズム支援事業 ・泉都まちづくりネットワーク ・地域通貨「泉都」 | | |
| 目標 | 泉都別府ツーリズム支援事業では、まちづくりに取り組んでいる団体に対し支援金を交付し、さらなる地域活性化を図る。泉都まちづくりネットワークでは、まちづくり団体の情報の共有と交流を図り、団体相互の連携を促進させる。地域通貨「泉都」では、地域通貨を利用しやすい紙幣型に変更し広く活用してもらうとともに、地域、ボランティア活動の推進を図る | | |
| 効果 | 事業を推進することで、住民のまちづくりへの主体的な取組が進められ、地域の活性化が図られる。 | | |
| 全体計画額 | 7,390千円 | 担当課 | 観光まちづくり課 |
| H22予算額 | 7,390千円 | 担当課長 | 松永 徹 |

| 事業名称 | 中心市街地活性化事業 | | |
|--------|--|------|-------|
| 事業内容 | ・商店街の新たな魅力づくりのための空き店舗の利活用事業 ・新たな快適空間創出のための旧楠会館跡地ポケットパーク化事業 ・統一感のある商店街づくりのための商店街間口改良事業 ・情報発信のため中心街のマップ、タウン誌の発行事業 | | |
| 目標 | 中心市街地活性化基本計画に基づいた各事業を、中心市街地活性化協議会や民間事業者と連携し推進することで、中心市街地の商店街や旅館街等の集客力を高め、まちのにぎわいを再生し活性化を図る。 | | |
| 効果 | 中心市街地の商店街や旅館街に新たな魅力の創出や快適な空間を整備することにより、中心街のにぎわいの再構築が図られ、来街者が増加し活性化に寄与する。 | | |
| 全体計画額 | 9,065,858千円 | 担当課 | 商工課 |
| H22予算額 | 119,725千円 | 担当課長 | 永井 正之 |

主要事業

| | | | |
|--------|--|------|----------|
| 事業名称 | APEC成長戦略ハイレベル会合 別府市開催 | | |
| 事業内容 | <p>日程:平成22年8月7日(土)、8日(日) 会場:ビ・コプラサ アジア太平洋の21の国と地域が参加する国際会議。 アジア太平洋の経済発展に向けた協力推進を目的とし、貿易・投資の自由化、エネルギー問題、経済構造改革等などの課題を協働して協力体制を築いていく会合を支援する。</p> | | |
| 目標 | <p>大分県・別府市協働で設置したAPEC成長戦略ハイレベル会合大分県実行委員会により、開催支援及び関連する地元主催事業の実施等を通して、ハイレベル会合を成功に導き、別府市の優れた情報を世界へ発信するとともに、国際交流や県内・市内経済の活性化の機運の醸造を図ることを目的とする。</p> | | |
| 効果 | <p>別府市では、現在、89の国・地域から3500人以上の留学生が学び・生活しており、国際的な交流もますます盛んに行われている。官民あげて世界に開かれた活力ある地域づくりが進んでいる中、これまで培ってきたONSENツーリズムの理念のもと、新しい国際交流力が培われ、別府市の優れた情報を世界へ発信する国際会議になると考える。</p> | | |
| 全体計画額 | 10,000千円 | 担当課 | 観光まちづくり課 |
| H22予算額 | 10,000千円 | 担当課長 | 松永 徹 |